

眞善美

学校教育目標「無限の可能性をひらく教育」

発行日 令和7年1月

小田原市立鴨宮中学校

責任者 永山 健治

〒250-0874 小田原市鴨宮 547

http://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/kamonomiya_c/

新しい年・令和7年(2025)のスタートです!!

2025年、令和7年のスタートです。今年は、昨年度にあった自然災害による不安からの始まりとは違い、少しホッとしました。このまま平穏な日々を送りたいと願っています。しかし、油断をすることなく常に「命」、「安全」については、不断の努力を続けていかなければと教職員一同意識をしています。令和6年度の締めまで、あと3か月、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

さて、今年の干支は、十二支でいうと「巳(み:へび)」年、十干では「乙(おつ:きのと)」の年となることから、干支は「乙巳(きのと・み)」です。「乙巳」の干支には、どのような意味があるかという、例えば「乙」は十干では第2位であり、困難があっても紆余曲折しながら進むことや、しなやかに伸びる草木を表しています。十二支の「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味します。脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。この2つの組み合わせである乙巳には、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった縁起のよさを表しているといえそうです。期待できる令和7年ですね。

税の作文表彰式!!

12月7日(土)に、「中学生の税についての作文」の表彰式が、おだわら市民交流センターUMECOにて行われ、小川大輔さん、大金俊介さん、小川紡季さんが出席しました。受賞名と受賞者は次の通りです。

小田原足柄納税貯蓄組合連合会奨励賞 小川大輔

「税についての考え」

小田原足柄納税貯蓄組合連合会奨励賞 大金俊介

「初めて税について考えた」

小田原足柄納税貯蓄組合連合会奨励賞 小川紡季

「税金と鉄道の関係」

小田原足柄納税貯蓄組合連合会奨励賞 橋本奈々美

「税と働き方」



学校保健委員会開催!

12月12日(木)に学校保健委員会が行われました。今年度のテーマは、「眠りのヒミツを探れ! ~鴨中生の睡眠事情から~」でした。保健委員会を代表したプロジェクトチームの皆さんが全校生徒に向けたアンケート調査を行い、調査結果や課題、対策について発表してくれました。“適切な睡眠時間を確保している人は授業中の居眠りが少ないこと”“電子機器の使用が睡眠に様々な影響を及ぼしていること”などが明らかとなりました。

睡眠には心身を守る大切な役割があります。ぜひこの機会をきっかけに自身の睡眠状況について見直し、より良い睡眠習慣が確立されることを願っています。



F組学習発表会を行いました!!

12月23日(月)に本校視聴覚室にて、F組の学習発表会を開催いたしました。当日は生徒全員による合奏から始まり、教科学習の発表では国語の「走れメロス」の朗読、理科の「スチールウールのクリスマスツリー点灯式」で生徒たちの学びを披露することができました。

一芸発表では、昭和時代の歌唱や中学生あるあるのネタを披露し、会場を沸かせました。

また、今発表会では「防災」をテーマにしており、劇の中で様々な防災クロスロードを設定しました。困難をどのように乗り越えていくかを、生徒自身が劇の中で発表することで、その日に向けての心構えをすることができたと思います。最後は会場にいる人全員で「夢の世界を」を歌い、大盛況の中で発表会を終えることができました。



中学生の主張作文・表彰式

12月7日(土)第39回中学生の主張発表会が、小田原市生涯学習センターけやきで行われました。本校からは3名が選ばれ、1名が代表として全体で発表をしました。来賓の方も中学生の主張を聞いて、「自分の中学生のころを思い出してみると、今日の発表はどれも素晴らしく比較にならない」と話していました。参加した3名も、他の学校の同年代の考えを聞くことができたことは、とても良い経験になったのではないのでしょうか。



わくわく豊川らんどボランティア

12月7日(土)、豊川小学校でわくわく豊川らんどが開催されました。鴨宮中学校からは、地域のボランティアとして32名の生徒が参加しました。豊川小学校の児童がケガをしないように、また、いろいろなイベントをスムーズに楽しむことができるように活動することができました。

昨年は、多くのボランティア活動に参加することができましたが、令和7年もボランティアとして地域の活動に積極的に参加していきたいと思います。



〈ひとりごと〉 昨年度に思ったことですが、ついに今年を最後に「年賀状じまい」を決めました。SNSを通し、これからは新年のあいさつや自分の今を伝えていきたいです。しかし、1年に一回、年賀状を通して心を通い合ってきた人もいます。自分で決めたこととはいえながらも少しだけ寂しくもあります。SNSを使う便利さもありますが、紙の温かさのほうが良いのではないかと今も思案中です。人とのつながりが薄くならないことを一番に考えてみたいと思います。・・・やはり年賀状は書くべきか(‘;)